

平成27年度「エンジニアリング功労者賞・奨励特別賞」 候補の推薦要項

一般財団法人エンジニアリング協会

＜表彰の目的＞

本制度は、エンジニアリング産業に関与し、その活動を通じエンジニアリング産業の発展に著しく貢献し、もしくは、貢献が期待される企業、個人またはグループに対して理事長表彰を行うことを目的とする。

(エンジニアリング功労者等表彰要領 第1条)

＜表彰の対象＞

次の各号のいずれかに該当し、他の模範となるべき個人、グループまたは企業を表彰の対象とします。参考例については、付表「表彰項目および参考例」をご参照ください。特に、インフラシステム輸出に関わる案件は、「エンジニアリング功労者賞」においても『インフラシステム輸出』枠として表彰の対象とします。

「エンジニアリング功労者賞」

I. 国際貢献

- (1) 海外におけるわが国エンジニアリング産業の諸活動に関与し、わが国エンジニアリング産業の評価・信用を著しく高めたとき。
- (2) 海外におけるわが国エンジニアリング産業の諸活動に永年に亘って関与し、当該国との友好を著しく深めたとき。
- (3) インフラシステム輸出であって、相手国の産業経済の発展に貢献すると共に、わが国エンジニアリング産業の発展に寄与したとき。

II. エンジニアリング振興

- (1) わが国エンジニアリング産業の技術力、管理手法等の向上に著しく貢献したとき。
- (2) エンジニアリングに係わる学術研究を通じ、わが国エンジニアリング産業の発展に著しく貢献したとき。
- (3) 新しい分野の開発・需要創出等によりわが国エンジニアリング産業の発展に著しく貢献したとき。

III. 環境貢献

わが国エンジニアリング産業の諸活動を通じ、CO₂の削減、省エネルギー・省資源等地球環境対策をはじめ、大気汚染・水質汚濁対策等の環境保全、環境問題の改善に大きく貢献したとき。

IV. 中小規模プロジェクト枠

国内、国外を問わず新規性（システム全体のみならずその構成要素の一部について新規性があると認められる場合も含む）を有し、わが国エンジニアリング産業の発展に貢献したもの。「きらりと光る案件や技術」を対象とする。プロジェクト規模としては、概ね10億円以下とする。

「エンジニアリング奨励特別賞」

- ①まだ実プロジェクトには至っていないが、実証された、先駆的な技術開発であって、

商業的実用化が十分可能であり、それが実用化された場合に、わが国エンジニアリング産業の発展に多大な貢献が期待できるもの。「実プロ化が期待される先駆的技術」を対象とする。

②まだ実プロジェクトには至っていないが、個別の機器・設備の納入のみでなく、設計・建設から維持・管理（操業指導を含む）までを実施するインフラシステム輸出であって、事業形態・事業分野等からみて、相手国の産業経済およびわが国エンジニアリング産業の発展に著しい貢献が期待されるもの。

2. 表彰の対象者について

- (1) 表彰の対象範囲は、原則として当協会会員（従業員を含む）としますが、当協会会員以外についても、当協会会員または当協会の活動に係わり貢献したものは含めるものとします。また、受賞者の対象が会員以外の企業等のみで構成されている場合にも、推薦があればわが国エンジニアリング産業の発展に先導的かつ画期的な貢献をした案件については表彰の対象とします。
- (2) 上記の会員以外の者には、企業体のみならず、産学連携プロジェクトにおける大学、大学院等の研究機関並びに研究者等を含むものとします。また、外国籍についても対象とします。

3. 表彰の対象案件について

- (1) エンジニアリング功労者賞
個人の業績に係わる場合を除き、概ね過去2～3年以内に完成したものとします。
ただし、『インフラシステム輸出』枠に関しては、事業の長期的なことを勘案し、商業運転開始後概ね5年以内のものとする。
- (2) エンジニアリング奨励特別賞
 - ①実証の確認後、概ね2年以内のものとする。
 - ②受注契約締結後、概ね3年以内のものとする。
- (3) その他
 - ①同種の事由によりすでに日本国から叙勲・褒章を受賞したもの、または大臣表彰を受賞したものは表彰の対象となりません。
 - ②なお、エンジニアリング奨励特別賞を受賞した案件については、将来エンジニアリング功労者賞への推薦を行うことを妨げません。

4. 候補の推薦方法について

(1) 候補の推薦要領

- ・別添様式（グループ用・個人用：様式1,2,3）による推薦書を提出していただきます。
- ・記入に際しては、別添の「推薦書記入等についてのお願い」をご参照下さい。
- ・推薦は当協会賛助会員企業の代表者名でお願いします。このほか推薦は当協会の役員、顧問、評議員が行うことができます。
- ・同一企業からの推薦は、各対象分野につき1～2件程度とします。
- ・推薦書の提出は必ず貴社の当協会連絡担当者の方を經由して行って下さい。
- ・推薦書の内容について関係者に対して口頭説明（プレゼン）、資料の追加等をお願いする場合がありますので、その節はご協力をお願いいたします。

(2) 推薦書の記入方法

- ・当協会 HP のイベント、功労者表彰から推薦書（グループ用・個人用）様式1（表紙）、様式2（功績の概要）、及び様式3（別紙及び添付資料リスト）をダウンロード

ドして記入をお願いいたします。

- ・事務局で実施するヒアリングでは、パワーポイントを利用して、推薦書（様式 1、様式 2、様式 3）を元に、別紙及び添付資料を参考に評価いたします。理事長及び選考委員会は様式 2 により内容を確認しますので、様式 2 は、推薦案件の全体像、及び従来案件・技術との違い・差異化ポイントが明確にわかるようご記入ください。

（3）推薦書の提出方法

- ・推薦書（様式 1、様式 2、様式 3）については、原本（代表者が捺印）を、下記提出先まで郵送していただくとともに、電子データで下記提出先まで送付して下さい。

（4）推薦書提出締切日

3月27日（金）17:30（原本必着）

（5）提出先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（虎ノ門マリビル10階）
一般財団法人エンジニアリング協会 功労者表彰事務局宛
（郵送の場合は簡易書留便をお願いいたします。）

電子データの送付先：E-mail:award@enaa.or.jp

<選考および発表>

受賞者は、エンジニアリング功労者等選考委員会の審議を経て選考され、6月頃に当協会の理事長が決定し、プレス発表するとともに当協会 HP に掲載します。

<表彰の時期および方法>

7月21日に表彰式が開催され、表彰状および副賞を授与する予定です。

<お問い合わせ先>

本推薦要項について不明な点は下記にお問い合わせ下さい。

一般財団法人エンジニアリング協会 中村、溝川、望月（E-mail：award@enaa.or.jp）

電話：03-5405-7201 FAX：03-5405-8201

以 上